

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ケア・コンフィデンス	代表者	高橋 宏成	法人・事業所の 特徴	【基本理念】あなたのそばで全力を尽くします。 地域に根差した小規模多機能居宅支援事業所として、地域の行事やイベントに参加し利用者様の社会参加を充実していきたいと考えている。 利用者様・家族の困り事と向き合い寄り添った支援を行ってきたい。
事業所名	小多機サテライト しょうわ家族	管理者	武井 真		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	人	1人	人	人	4人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> 自己評価に取り組んでいるが、やり方を確認して情報を共有した方が良い。 運営推進会議に参加しない職員が参加しても良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価のやり方を再度確認していき、会議の際に情報を共有する。 代表職員だけではなく、職員誰でも参加できるよう当番制など検討していきたい。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> 家庭的な雰囲気があり、入りやすいと思う。 とても良い環境になっていると思う。交通量の多くない所に立地しているので、静かで危険も少なく良い。 入浴は時間の都合もあるかもしれないが、1人ずつ入れるといいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の際に話し合いをし、入りやすい雰囲気作りを工夫していきたい。 入浴に関しては、利用者様の意志や状態により個別対応している。引き続き継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> 挨拶もできており、明るい雰囲気がある。 事業所の行事を地域にアピールすることで、より着目度が増すかもしれない。 コロナの影響が残る中で、出来ることから実施していけば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るい雰囲気作りについて会議の際に話し合いをしていく。引き続き挨拶の徹底に努める。 引き続き、作品のプレゼントすることにより事業所をアピールしていき、徐々に職員、利用者様の地域の方々との関りを検討する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み			<ul style="list-style-type: none"> コロナの流行により制限されるのは、やむを得ない。 日々忙しいのでなかなか難しいと感じます。 生活支援等、通常の訪問介護では対応しきれない部分の活動に期待したい。 定期的に行事や外出等を行っており、地域との関りを断たない支援は出来ていると思う。 地域の方が親しみやすい施設の外観作りはできていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナも5類になったので、定期的に外出行事やが外食会を行えるよう会議で話し合う。 日頃より利用者様が何に困っているか、本当に必要なものは何かを観察していき、会議の際に話し合い実施していく。

E. 運営推進会議を活かした取り組み			<ul style="list-style-type: none"> ・出来ている。 ・有効な会議になっていると思う。 ・改善に取り組んでいると感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を実施していても、写真が少なかったので写真を撮ってきたい。 ・引き続き有効な会議なるよう、職員同士話し合いをしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	/	/	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画や防災訓練はなかなか見たり立ち会ったりできないと思うので、仕方ないと思う。それでも数字が表すように信頼されているので、充分に対策を講じていると思う。 ・防災訓練等を行えているようで良かった。計画等も確認したい。 ・新しい事業所なので、これからの活動と認識している。地域を守る拠点の1つとなることを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議時、消防計画閲覧できるようにする。 ・自治体と協力して地域の訓練にも参加を検討する。 ・備蓄を置き、地域の皆様を守る拠点の1つになる。